

第1学年 特別の教科 道徳 評価規準

時期	単元名	評価規準
4月	どうとくで がくしゅうする こと どうとくでは こんな まなびかたを するよ	*友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 *友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。
	1 がっこう だいすき 「がっこうは たのしいね」 【C よりよい学校生活、 集団生活の充実】	【多面的・多角的に考える】 *よりよい学校生活を送ることのよさに気づき、よりよい学校生活や集団生活を送るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *学校生活や友達のよさを理解し、学校や集団生活を送るために必要なことについて、自分との関わりで考えることができているか。
	2 あいさつの ことば 「あいさつを しよう」 【B 礼儀】	【多面的・多角的に考える】 *挨拶をすることの大切さに気づき、お互いに気持ちのよい挨拶をするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *相手や場面に合わせた挨拶をすることの大切さを理解し、それぞれの場面でのふるまい方について、自分との関わりで考えることができているか。
	3 きもちの よい せい かつ	【多面的・多角的に考える】 *時間を守ることや、身のまわりを整理・整頓することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *基本的な生活習慣を身につけることで快適な毎日が過ごせることに気づき、これからの生活について、自分との関わりで

第1学年 特別の教科 道徳 評価規準

	「きもちよく くらす」 【A 節度、節制】	考えることができるか。
5月	4 なかなおり 「ともだちと なかよく」 【B 友情、信頼】	【多面的・多角的に考える】 ＊素直に謝ったり、友達と仲よくしたりすることの大切さに気づき、どうしたら友達と仲よくすることができるかについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊相手の立場や状況を踏まえて素直に謝ったり、友達と仲よくしたりすることの大切さを理解し、友達と仲よくすることについて、自分との関わりで考えることができるか
	5 これって いいのかな 「きまりを まもる」 【C 規則の尊重】	【多面的・多角的に考える】 ＊約束やきまりを守ることの大切さに気づき、約束やきまりを守り、みんなが使う場所や物を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊約束やきまりを守ることについて考えることをとおして、約束やきまりを守って生活することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	6 かぼちやの つる 「わがママを しなide」 【A 節度、節制】	【多面的・多角的に考える】 ＊自分の周囲の人も快適な気持ちにするための行動や考えをもととする気持ちを高め、わがママをしないためにはどのようにすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊わがママや自分勝手な行動をせずに節度ある生活を送ることの大切さを理解し、自分の生活を振り返ったり、見つめたりするなど、自分との関わりで考えることができるか。
6月	7 ハッピーチェンジ 「よい ところに きづく」 【A 個性の伸長】	【多面的・多角的に考える】 ＊友達のよいところを見つけることのよさに気づき、友達や自分のよいところについて、多面的・多角的に考えることができるか。〔 【自分のこととして考える】 ＊友達や自分のよいところを見つけ、それを大切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

第1学年 特別の教科 道徳 評価規準

8 おふろばそうじ 「じぶんで きめた ことを やる」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】		【多面的・多角的に考える】 ＊自分のやるべき仕事の大切さに気づき、自分で決めたことをしっかりと行うためにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊自分のやるべき仕事や勉強の大切さを理解し、どうすれば自分で決めたことを行い、続けていけるかについて、自分との関わりで考えることができるか。
9 おじいちゃん だいすき 「だいすきな かぞく」 【C 家族愛、家庭生活の充実】		【多面的・多角的に考える】 ＊家族とのつながりや家族のよさに気づき、家族を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊家族を大事にすることの大切さを理解し、家族のためにすすんで役に立とうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
10 くまさんの おちやかい 「すなおな ところで」 【A 正直、誠実】		【多面的・多角的に考える】 ＊うそやごまかしをしないことのよさに気づき、うそやごまかしをしないためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊うそやごまかしをせず素直に謝ることのよさを理解し、うそやごまかしのない明るい生活をしていくことについて、自分との関わりで考えることができるか。

第1学年 特別の教科 道徳 評価規準

7月	11 にちようびの できごと 「れいぎを たいせつに」 【B 礼儀】	【多面的・多角的に考える】 *礼儀正しくすることの大切さに気づき、礼儀正しくするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *気持ちのよい挨拶、言葉づかい、動作によってお互いが気持ちよく生活できることに気づき、礼儀を大切に生活をした生活を心がけることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
	12 すてきな きょうしつ 「みんなと たのしく」 【C よりよい学校生活、 集団生活の充実】	【多面的・多角的に考える】 *楽しい学校生活を送ることのよさに気づき、楽しい学校生活を送るためにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *友達とともに楽しい学校生活を送ることの大切さを理解し、みんなと楽しくすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
	13 二わの ことり 「ともだちの ために」 【B 友情、信頼】	【多面的・多角的に考える】 *友達のことを思うことの大切さに気づき、友達のためにできることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *友達のことを思って行動することの大切さを理解し、友達を大切にするについて、自分との関わりで考えることができるか。
9月	14 なんて いったのかな？ 「よいと おもう ことを すすんで」	【多面的・多角的に考える】 *よいと思うことを行うことの大切さに気づき、よいと思うことをすすんで行うためにはどうすればよいかについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを行うことの大切さを理解し、よいと思うことをすすんで行い、友達に対してもはたらきかけていこうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

第1学年 特別の教科 道徳 評価規準

	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	
9月	15 いっしょに あそぼう 「だれとでも なかよく」 【C 公正、公平、社会正義】	【多面的・多角的に考える】 * 仲間はずれをしないことの大切さ
	16 ダメ！ 「ゆうきを だして」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	【多面的・多角的に考える】 * よいと思うことを行おうとすることの大切さに気づき、よいと思う行動をするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * よいことと悪いことの区別をして、よいと思う行動をすることの大切さを理解し、勇気を出してよいと思う行動をすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
10月	17 たのしかった ハイキング 「しぜんの なかで」 【D 自然愛護】	【多面的・多角的に考える】 * 自然のもつ不思議さや生命力などに気づき、自然に親しみ、動植物を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 自然のもつ不思議さや、自然とともに生きていることなどを理解し、自然を大切にしようとするについて、自分との関わりで考えることができているか。

第1学年 特別の教科 道徳 評価規準

	18 きいろい ベンチ 「きまりを まもって」 【C 規則の尊重】	【多面的・多角的に考える】 * 約束やきまりを守ることの大切さに気づき、約束やきまりを守るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 約束やきまりを守って生活することの大切さを理解し、みんなが使う物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
	19 けしごむくん 「ものを たいせつに」 【A 節度、節制】	【多面的・多角的に考える】 * 物を大切にすることのよさに気づき、物を大切に使うとはどのように使うことかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 身のまわりの物を大切にすることのよさを理解し、物を大切にするためにはどうしたらよいかについて、自分との関わりで考えることができるか。
	20 くりの み 「あいてを おもいやって」 【B 親切、思いやり】	【多面的・多角的に考える】 * 相手を思いやること大切さに気づき、思いやりのある行動を取るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 相手を思いやって行動することの大切さを理解し、相手のことを考えて親切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
11月	21 にっぽんの ぎょうじ 「でんとうや ぶんかにしたしむ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	【多面的・多角的に考える】 * 昔から伝わる行事のよさに気づき、さまざまな行事に対して親しみをもつとともに、日本や地域の伝統的な行事を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 国や地域に伝わる行事のよさを理解し、季節ごとのさまざまな行事を守り、親しみをもって生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。

第1学年 特別の教科 道徳 評価規準

	22 ハムスターの あかち やん 「いのちが もつ ちか ら」 【D 生命の尊さ】	【多面的・多角的に考える】 ＊生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、生命を大切にするにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考える ことができるか。 【自分のこととして考える】 ＊生命のたくましさやすばらしさを理解し、かけがえのない生命を大切にするについて、自分との関わりで考えることが できるか。
	23 ひとつぼし 「よい ところに きづ く」 【A 個性の伸長】	【多面的・多角的に考える】 ＊友達や自分のよいところに気づき、自分のよいところを伸ばしていくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的 に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊友達や自分のよいところを理解し、自分のよさを伸ばしていくことについて、自分との関わりで考えることができるか。
	24 せかいの しぐさ 「せかいに めを むけ て」 【C 国際理解、国際親善】	【多面的・多角的に考える】 ＊世界の国々を理解することの大切さに気づき、すすんで世界の国々を知るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的 に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊世界のいろいろな国を知ることを大切さを理解し、すすんで世界のことを知ろうとすることについて、自分との関わりで考 えることができるか。
1 2 月	25 あのね 「うそや ごまかしを し	【多面的・多角的に考える】 ＊うそやごまかしをしないことの大切さに気づき、うそやごまかしをせず正直でいるためにはどうしたらよいかについて、多面 的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊うそやごまかしをしないで正直でいることの大切さを理解し、うそやごまかしのない明るい心で生活することについて、自

第1学年 特別の教科 道徳 評価規準

	ない」 【A 正直、誠実】	分との関わりで考えることができるか。
12月	26 はしの うえの おお かみ 「あたたかい ところで」 【B 親切、思いやり】	【多面的・多角的に考える】 * 温かい心で相手に接することのよさに気づき、親切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 優しい気持ちで相手に接することのよさを理解し、思いやりの心を持ち、親切に行動することについて、自分との関わりで考えることができるか。
	27 おとうさん ありがと う 「ありがとうの きもち」 【B 感謝】	【多面的・多角的に考える】 * 感謝をする気持ちをもつことの大切さに気づき、日頃お世話になっている人々に対して感謝の気持ちを表すためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 日頃お世話になっている人々に感謝をする気持ちをもつことの大切さを理解し、感謝の気持ちをもつことについて、自分との関わりで考えることができるか。
1月	28 こくばんとうばん 「みんなの やくに た つ」 【C 勤労、公共の精神】	【多面的・多角的に考える】 * みんなのために働くことのよさに気づき、みんなのためにすすんで働こうとするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 責任をもってみんなのために働くことのよさを理解し、責任をもってすすんで働くことについて、自分との関わりで考えることができるか。

第1学年 特別の教科 道徳 評価規準

1月	29 七つの ほし 「うつくしい ところ」 【D 感動、畏敬の念】	【多面的・多角的に考える】 ＊美しいものや清らかなもののよさに気づき、美しい心をもつためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊身のまわりの美しいものや清らかなものからそのよさを理解し、心の美しさについて、自分との関わりで考えることができているか。
	30 ねんがじょう 「むかしから つたわる ぶんか」 【C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度】	【多面的・多角的に考える】 ＊昔から伝わる年賀状の歴史を知り、日本や地域の伝統や文化、風習のよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊年賀状のよさを理解し、自分だったら誰にどんな気持ちをこめて書くかを考えるなどして、伝統や文化を大切にしていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。
2月	31 いのちの はじまり 「いのちを たいせつに」 【D 生命の尊さ】	【多面的・多角的に考える】 ＊生命の大切さに気づき、生命を大切にしていくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 ＊命のつながりや生命の大切さを理解し、生命の大切さやすばらしさについて、自分との関わりで考えることができているか。
	32 「ありがとう」の く すり 「ありがとうの きもち」 【B 感謝】	【多面的・多角的に考える】 ＊感謝の気持ちを伝えることの大切

第1学年 特別の教科 道徳 評価規準

	33 るすばん 「かぞくの ために」 【C 家族愛、家庭生活の 充実】	【多面的・多角的に考える】 ＊家族の大切さに気づき、家族のためにすすんで役に立つにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊家族とのつながりや家族の大切さを理解し、家族のためにできることについて、自分との関わりで考えることができるか。
3月	34 もりの ゆうびんやさ ん「はたらく よろこび」 【C 勤労、公共の精神】	【多面的・多角的に考える】 ＊働くことのよさに気づき、すすんでみんなの役に立つにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 ＊働くことやみんなの役に立つことのよさを理解し、みんなのためにできることについて、自分との関わりで考えることができるか。